

小学生のためのデジタル・シティズンシップ

総合的な学習
小学校 特別活動

NHK
VIDEO教材

3~6年

小学生のための デジタル・シティズンシップ



COBE-7372

文部科学省学習指導要領準拠

DVD
VIDEO

対象学年：3年～6年

監修：安藤 明伸 広島工業大学 情報学部 教授

映像収録内容(全てのテーマ)に対応した
「ダウンロードできる副教材付き」

●教師用指導資料

映像の要点と使える場面、指導上の留意点などを収録しています

●児童用ワークシート

映像からの気づきやふり返りを記録することにより今後の行動につなげます

●活動事例集

調べ学習やディスカッションの材料となる事例を掲載しています

内容の一部

「著作権に関するクイズ」
「SNSのプロフィールの個人情報、どこまでのせる？」
「こんなことがおきると、どのように対応する？」

DVD1枚・トールケース入り

COBE-7372

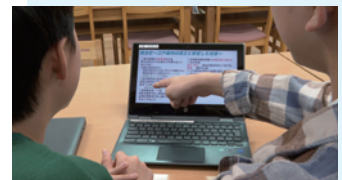
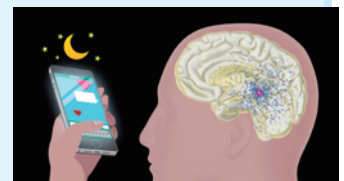
収録時間	約34分	製造・発売	日本コロムビア株式会社
価格	18,700円(本体 17,000円)	制作	株式会社NHKエンタープライズ

© NHK ENTERPRISES

※オンライン授業等で利用できる「配信活用」可能な映像データをご用意しています。

[収録内容]

- ◆はじめに
 - ・デジタル・シティズンシップってどんなこと など
- ◆コミュニケーション(オンライン上での情報交換)
 - ・ソーシャルメディアの特徴と活用／SNSでの情報の発信と収集 など
- ◆情報に対する適切な判断と活用
 - ・情報の選択と活用(ネットのニュースサイト) ネットメディアの特性 など
- ◆著作権・動画の音楽の著作権
 - ・著作権違反の例、youtube、tiktokでの音楽 など
- ◆健康的なデジタル機器の利用
 - ・e-sportsの普及、VRを使ったスポーツ体験 体への影響とインターネット など
- ◆売買に関する知識
 - ・ネットショッピング、個人間の売買アプリ など
- ◆セキュリティ
 - ・パスワードの設定と管理、マルウェアとコンピュータウイルス など
- ◆まとめとメッセージ
 - ・「デジタル社会の市民として、自分に必要なスキルはどんなものなのか？」
「便利さを手に入れることと引き換えに、どんな危険やトラブルが潜んでいるのか？」を自分たちで考え行動することが求められている。



活用場面、指導例とワークシート例

活動事例集 から

活用場面

教師用指導資料 から

指導例

■チャプター3

「情報に対する適切な判断と活用」

児童用ワークシート から

ワークシート例

■チャプター3

「情報に対する適切な判断と活用」

1台)のデジタル機器を活用した話し合い、発表などもぜひやってみてください)

また、学校での児童の学習活動以外に、学期ごとの保護者会などのご活用もいただけます。児童がスマホやPCで動画見てばかりな様子や、何か悪質なサイトにアクセスしてトラブルにならないかなどを心配している保護者は少なくありません。タブレット、パソコン、スマートフォンは今や生活に不可欠な道具であることを再認識しながら、「〇〇をやってはだめ」だけではなく、デジタル技術とどのように積極的に付き合っていくのか(自身をアップデートさせることの大切さ)などを、一緒に学ぶ機会の題材にもできます。

最後に、すべてのチャプターのすべてのワークを網羅するのではなく、ご指導になる児童や学校の特性に合わせて特定のチャプターのみで学習するなど、取捨選択

どんな活動で使えるか、どの教科のどんな場面で使えるかを示しています

チャプター1 「導入」

教科 総合的な学習の時間、学級活動(セーフティー教室など)、道徳、社会など

活用例 特に学級活動や道徳では、SNSの利用に関する指導や学校のタブレットの使用に関する指導で活用することができます。全体を通して考える教材としての価値がありますので、道徳の内容項目に合わせてもご使用いただけます。

視聴前に、1人1台パソコン・タブレットを授業で使用できるようになったことなどを例に挙げ、「デジ

チャプター3 「情報に対する適切な判断と活用」

教科 国語、総合的な学習の時間、学級活動(セーフティー教室など)、社会、理科等

活用例 各教科で調べ学習をする際の導入で活用することができます。情報の選択、情報源の開示、情報に対する自分の意見を正しく判断するための知識や技能を教えることができます。

例えば、国語5・6年生では「[B]書くこと」に関連付け、情報を収集する対象や手段としてインターネットを取りあげて、集めた材料の相互の関係などを考察する材料にできます。また、社会科では5年生の「我が国の産業と情報の関わり」の単元で、情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目する学習と結び付けて展開できます。

発問

「調べ学習などをすると、インターネットの検索をすることもありますが、たくさんの情報の中からみんなはどんな風に自分の発表資料の材料を選んでいる？」

→例「検索で上位にくるもの?」「新聞社とか、公的機関の情報とか?」・・・

ワークシート課題1

「情報の確かさをどんな方法で確かめたらよいだろう」

挙手・発表

- ・誰が発信しているか(情報源を調べる)
- ・ほかの情報源からの情報と比較(情報が発信される時には複数の人から出ていることが多いので比較)などの意見が出て、必ずしもすべての情報が「正しい」とは限らないことを確認する

映像視聴後

ワークシート課題2

「映像の例を見て気づいたことをまとめてみよう」

「ChatGPTがどのように活用されたいかなどアイデアがあれば書いてみよう」

→グループ内で話し合い、話し合ったことを「気づいたこと」「ChatGPTの活用」にわけて発表

指導上の発問やワークシートの課題にも触れています。

現時点での知識や身近な体験、自分の行動や考えなどを書き記して、これからの活動(映像の視聴やその後の発表や話し合いなど)の見直しをもつことができるような課題を設定。原則は、映像視聴前に記入しておきます。

友人たちからの発表や話し合い、映像の視聴についての振り返りを行うためのもの。考えていること、気づいたこと、話し合ったことなどを見える形にします。課題の内容により、映像視聴前、映像視聴後の両方があります。

気づいたこと、新しく知ったことを振り返り、次の学習や生活への見直しや方向性を定めます。これからどう行動していくか、どう行動すればよいのかまで意識して、発表できる課題。原則は映像視聴後、記入します。

チャプター3 「情報に対する適切な判断と活用」ワークシート

はじめに(メモしてみよう)

「調べ学習などをすると、インターネットの検索をすることもありますが、たくさんの情報の中からみんなはどんな風に自分の発表資料の材料を選んでいる？」

ワークシート課題1

「情報の確かさをどんな方法で確かめたらよいだろう」

映像視聴後

ワークシート課題2

「映像の例を見て気づいたことをまとめてみよう」

ちょっと発展 「ChatGPTがどのように活用されたいかなどアイデアがあれば書いてみよう」

お問い合わせ **日本コロムビア株式会社**

TEL 03-5962-6544(代)

<https://columbia.jp/education/kyozai.html>

●お求めは